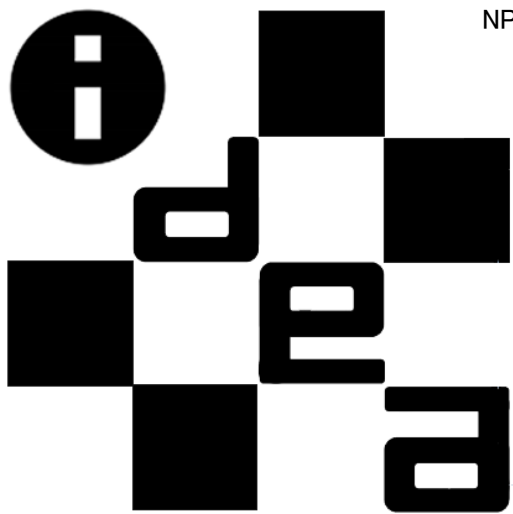




NPO・行政・企業・地域の情報発信により、アイデアと出会いの機会を創ります。

ニュースレター アイデア

2016

2月号

つながり×ひろがる

いのせき市民活動センター



～ も く じ ～

- 2 | 二言三言～一関市の防災活動と地域づくり～
- 4 | 団体紹介～ひがしやまジュニアリーダーズクラブ「ハピクロ」～(東山)
- 5 | 地域紹介～中里4区～(一関)
- 6 | 企業紹介～農事組合法人 おくたま農産～(千厩)
- 7 | センターの〇〇～ハプニング大賞 2015～

フタコト×ミコト 第21回 二言三言 29/122,633

一関市の防災活動と地域づくり

対談者 一関市消防本部 消防長(消防正監) 高橋邦彦さん

聞き手 いちのせき市民活動センター センター長 小野寺浩樹

1 本部 4 消防署 5 分署 1 分遺所^{ぶんけんしよ}での消防防災体制

【小野寺】消防署の仕事はおおよそ見当がつくのですが、消防本部の体制や業務などの細かい部分をお聞かせください。

【高橋】一関市消防本部の組織は、平成 18 年 4 月から



一関市消防本部
消防長 高橋邦彦さん

効率的な消防防災体制を拡充するため、1 本部（総務、予防、消防、防災課）、4 消防署 5 分署 1 分遺所（西、南、東、北消防署。平泉、藤沢、室根、川崎、東山分署。田村町分遺所）の体制で業務を行っています。管轄は一関市全域になりますが、平泉町も消防に関する事務を一関市が受託していて業務を行っています。住民の方には、消防署は火災、救急、救助などの各種災害の対応と思われるがちですが、それ以外にも 119 番をかけると応答して車両出動する通信指令業務、火災予防のために建築物の安全確保や消防設備の検査やガソリンスタンドなどの危険物施設の許認可事務もあります。職員は、普段の勤務中にどんな災害にも対応できるような形で訓練を実施しています。さらに、防災に関する事務もあります。例えば、地震、水害など大規模な災害の対策、危機管理、また、自主防災組織の育成や消防団に関する事務も行っており、消防から防災へと幅広く業務を行っています。

【小野寺】まさに幅広い業務内容ですね。一関市の災害発生の傾向はどのようになっていますか。

【高橋】一関市の災害状況ですが、火災については、件数はここ 10 年間を見ると少ない年で 50 件、多い年で 70 件くらいです。統計が記録された昭和 48 年から見ると、全体的な傾向として件数は減少傾向です。ただし、住宅

火災での死者数は、最近 10 年間の累計は 24 人で、うち高齢者が 16 人と全体の 67%を占めています。全国統計（平成 26 年）でも 68.4%ですから同じくらいの割合です。

今後高齢化がさらに進むとその対策も重要と考え、今年から高齢者を対象にした防火指導に特に力を入れています。老人クラブの諸行事や介護予防教室、デイサービスなどに職員が出向いて、火の取り扱い、住宅用火災警報機の設置促進、就寝場所をできるだけ避難しやすい 1 階に移すなどの話をしています。もう一つは、民生委員さん方の協力を得て、自宅を訪問しての防火指導も行っています。

【小野寺】高齢者を対象にした防火指導などはますます必要になりますね。自然災害については、どのような対策が行われていますか。

【高橋】地震について、一関市は平成 20 年の岩手・宮城内陸地震、平成 23 年の東日本大震災と 2 度の大地震を経験しました。その教訓を踏まえて、新たな時代に即した消防防災対策の構築に取り組み、住民が安心安全に暮らせるまちづくりに取り組んでいきたいと考えています。台風や洪水では、過去には大きな被害があった所ですし、その後においてもたびたび水害に見舞われています。昨年、洪水危険河川の監視計画を作りました。内容は集中豪雨に対応するため、雨量（1 時間 30 ミリ、3 時間 70 ミリ）に応じた対策を定めています。また、洪水の危険性がある 15 の河川について、河川水位に基づいた市職員の行動、連絡体制、市民の行動などを定め、積極的に情報提供を行いながら被害発生の恐れのある地区の住民に避難を促すようにしています。

岩手県一の消防団員数で当たる防災対応

【小野寺】市内には自主防災組織（以下「自主防」）や消防団が各地域にありますが、現状はどうでしょうか。

【高橋】市内の自主防の結成率は、今年 4 月 1 日現在で 90.9%（行政区単位）になっています。こちらでは、自主防の方を対象に災害対応力の向上を目的とした消防防災セミナーを実施しています。これは、自主防の方にテーマを考えていただきそれに合わせて職員が出向いて出前講座を行う形です。また、セミナーの指導員を育

成することも必要と考え、自主防、婦人消防協力隊、消防団などの方と一緒に来ています。それによって地域のリーダーとして広く活動してもらいたいと考えています。消防防災セミナーは平成25年度の186件8045人をピークに少しずつ減少しています。今年度は指導員のさらに上の上級指導員を育成することを目的に、一関防災指導員講習会を実施しています。その方々に育成強化の一翼を担っていただきたいと、月1回3時間で6カ月のカリキュラムの中で実施しています。



【小野寺】消防団の現状はどのようになっていますか。

【高橋】一関市消防団は8地域28分団140部で組織されており、団員数は4月1日現在2764人となっています。一関市の条例定数は2900人で充足率は95.3%と、団員数と充足率は岩手県で一番です。盛岡市は30万都市ですが、団員数は一関市の方が多くなっています。

【小野寺】団員数や充足率が岩手県でトップであることは初めて知りました。ところで、課題としてはどんなことがありますか。

【高橋】消防団の課題は団員確保だけでなくサラリーマン化が進んでいることです。かつて団員は自営業が多く、サイレンが鳴ればすぐに駆けつけられたのですが、最近の統計では被雇用者（自営でない団員）は70%くらいです。このことから、災害発生時に出勤するには消防団員が勤めている事業主さんの理解が必要になります。例えば、夜に地元の消火活動に従事し、朝自宅に帰って来て出勤することになります。そのため、平成22年から消防団協力事業証表示制度を設けています。ある一定の基準で消防活動に従事し協力していただいている事業所に協力証を交付しており、玄関などに掲示したり、会社のパンフレットにも記載したりしています。平成27年4月現在で38の事業所に交付しています。

防災をキーワードとした地域づくり

【小野寺】自主防や消防団について今後への希望などをお聞かせください。

【高橋】防災に関して地域の役割を考えた時、災害の時我が身を守る術を構ずる、自分の身を守れば隣近所がどうかという地域の連携、安全な場所への移動が重要だと思います。地域の防災力は、自助・共助・公助それぞれの3つが連携し合いながら行うことが大切ですし、行政の活動が基本で自主防がどう活動していくかが重要だと考えています。

【小野寺】地域では、防災マップ、ハザードマップを作っていますが、市で作成した防災マップとずれがあるとの声も聞かれます。

【高橋】消防署では住民の方々に住んでいる所がどんな所か知ってもらうために地図を作る活動をしています。地震で倒壊する恐れがある古い建物、避難の支援を必要とする人など、皆で考えて地図を作ることが大切です。市指定の避難所には最終的に避難してもらいますが、その前に安否確認し近くに避難する。被害状況から踏まえて避難所に向かうか、ここに留まるか、集まった人たちで考える。避難所に入ったら運営管理をどうするか。皆さんで協議しながらルールをつくるのが大切です。

【小野寺】消防署自体が身近な存在ということでは屯所のシャッターアートが面白いと思います。

【高橋】この事業は、ただ単に消防団だけではなく地域の人達を巻き込み、子供から大人まで集まって同じことをすることで地域のつながりが強くなるのかと思います。原画は一関地域の小学生から、ペイントを希望する分団も同時に募集します。選ばれた原画を基に地域の方でペイントしますが、原画が選ばれた子供とその家族も集まります。一つのことに對して地域の多くの方が関わり、地域の触れ合いやつながりが広がります。

【小野寺】小さい時から消防に関しての意識を持てることは良いことですね。

【高橋】顔が見える関係になると、災害時に隣近所に一言声をかけやすくなると思います。

【小野寺】地域づくりには少子化や高齢化の課題はありますが、生活しやすい地域をつくるのが大前提です。それには隣近所の見守りや助け合いも含めて、災害時に地域全体で対応できるつながりを作っていくことが大切だと思います。

【高橋】防災をキーワードとして地域づくりに結びつけてもいいのかと思います。地域で行う災害訓練に参加することにより地域内の様子が分かり、それがベースとなりそのつながりで地域の防災力の向上が図られることになります。

【小野寺】消防署は特別な存在でなく、話題提供していただく身近な場所と考えればいいのかと思いました。防災は日常生活の中での大事なキーワードですね。現在市が進めている地域協働の中の防災、安全安心分野では切っても切れない部分だと思います。情報提供や講座等に我々も関わるとうれしかったです。

※ここに掲載できなかった内容は、「こぼれ話」として当センターHPに掲載しています。併せてご覧ください。



屯所のシャッターアート

基本情報

【一関市消防本部】

消防長(消防正監) 高橋邦彦さん

〒021-0053 一関市山目字中野 140 番地 3

電話 0191-25-0119(代) FAX 0191-25-5119

ひがしやまジュニアリーダーズクラブ「ハピクロ」

団体 紹介



ジュニアリーダーのみなさん

～基本情報～

- ◆会 員：30 名
- ◆事務局：佐々木範明さん
- ◆連絡先：〒029-0302
一関市東山町長坂字西本町 105-1
- ◆電 話：0191-47-4544
(東山支所教育文化課内)

まわりも自分たちも幸せになれるサークルを目指して

きっかけはある生徒のあいさつから

これまで奥州市で、10 年以上ボランティアとしてジュニアリーダーと活動をしていたという「ハピクロ」事務局の佐々木さん。勤務先である、一関市役所東山支所での勤務初日に、見知らぬ中学生から「おはようございます」と声をかけられ、「東山の子どもたちはなんていい子なのだろう」と感銘を受け、ジュニアリーダー設立を決意。東山中学校への趣旨説明、ポスター掲示、チラシ配布を行い、「期待と不安の入り混じった気持ちで過ごしました」と当時を振り返ります。現在は中学生 18 名、高校生 12 名の 30 名で活動しており、平成 28 年 3 月には、ハピクロの 1 期生となる 5 人を卒業生として送り出します。

誰かのための活動を通して得られる自身の成長

「人に何かをあげると、もらった相手は嬉しいと感じる。相手が喜んでくれれば、自分も嬉しくなる。誰かのために何かをすることによって、自分自身が励まされ、自信や力が付く。そうやって自分が成長していく。それがジュニアリーダーの活動の一番大切な意味です」と語る佐々木さん。

活動の基本は、「自主的・主体的」であること。「自分たちで話し合い、考えて決める」ことを大切に、「夏の笑星 s」「冬の笑星 s」を始めとした自主事業の企画立案や、地元のさまざまなイベントへの参加、「ハピクロ研修会」の開催など、年間を通して活動を実施。「年に一度の活動ではなく、年間を通して様々な経験をして大きく成長してほしい」と話す佐々木さんは、「学校と部活と家だけでなく、このような場で成長していく子どもたちの姿を見られるのが大人として嬉しいですね」と、素敵な笑顔を見せてくれました。

「冬の笑星 s（わらすたず）」の実施を通して

平成 28 年 1 月 6 日（水）、東山地域交流センターにて行われた「冬の笑星 s」では、小学生 21 名を対象に、6 名のリーダーの皆さんが実際に活動を実施。

ホールでは「並んで!」「静かにして!」「鬼やりたい人!」などリーダーが指示を出すと、子どもたちが「はい!」と元気な声で応えます。

とても自然な距離感で子どもたちと触れ合うリーダーたちの様子を見守る佐々木さんは、「何でもかんでも大人が決めて、下準備をしたり、ルールを敷いたりしたのでは、子どもは体験や失敗からの気づきを見落としてしまいます」と語ります。「なんでもない時間に大切なことに気がついたり、臨機応変に動いたり、そして小さな子と仲良くなったりすることが一番大切な目的ですから」と、「自分たちで決め、失敗しながら成長する事の大切さ」に触れ、東山食生活改善推進協議会の方が指導する調理実習の様子を見ながら、リーダー達にスケジュール調整についてアドバイスをを行います。

「友達がやっていたのがきっかけでハピクロの活動を始めました」と語るのは東山中学校 3 年生の本多さん。「積極的に参加して、子どもたちと打ち解けられるようになりたいです」と今後の活動に対する抱負を語り、仲間と話し合って活動をすすめています。

佐々木さんは「ジュニアリーダーを卒業した O B が増え、10 年後、20 年後にこの子たちが東山の、あるいは一関の青年リーダーや地域リーダーとして活躍してくれると信じています」と語ってくれました。



参加者との調理実習体験

地域 紹介



区長 千葉政弘 さん

～基本情報～

- ◆区長：千葉 政弘 さん（4期7年目）
- ◆中里4区は、80世帯約237人が暮らす街中の民区です。神社や公園等の施設・場所があり、住民の協力の気持ちと結束力が強いことが自慢です。

盛り上げて一致団結！みんなで行う地域づくり

空き家を改装して造った集会所「ぬくもり」

一関中里地区の主要道路である、県道134号線を中心に、山ノ目駅と中里市民センターの間に位置する中里4区（以下「4区」）では、県道沿いに住宅や事業所が立ち並び、車通り・人通りが多い地域です。

取材でお話を伺った区長の千葉政弘さんは、30歳のときに盛岡から中里にUターン、親子二代で勤めた岩手日日新聞社で働きながら、長年に亘り民区活動を支えてきた一人です。

4区の活動拠点は、平成25年に空き家を改築して造った集会所「ぬくもり」です。集会所をもつ前は稻荷神社の社務所を集まりの場にしていたが、「利用時間の制限なく気軽に利用できる場所がほしい」と空き家を活用した集会所造りを決意。空き家の所有者に相談すると、「住民の皆さんが集まる場になるなら」と家と土地を無償で貸してもらい、住民皆さんの協力により7か月かけて内部を改修、集会所内に置く備品は皆で持ち寄り、皆の期待と盛り上がりムードの中で集会所が完成しました。千葉さんは、「皆で造った皆の集会所です。4区は『自分達の手で』という気持ちが強く、結束力も強い」と笑顔を見せます。

民区行事は楽しみ・教わる・学びの場

年間の民区行事の中で、他の地域に誇れる行事の一つは4・5民区合同で取り組む寺主催の盆踊り大会です。会場に、出店の設置、踊りや抽選会等の催しを企画するほか、お寺の和尚さんからは「お盆はご先祖様があの世に帰っていく日だから、皆が集まってこそご先祖様は喜ぶんだよ」というお話があり、日本文化や伝統を教わる学びの場にもなっています。

「この盆踊り大会には毎年400人近くの方が参加しますが、和尚さんがお経を唱える中、会場に設けた送

り火に向かって参加者が一斉に合掌し先祖を送ることまでしているのは、市内でも珍しいのでは」と千葉さん。行事を楽しむだけではなく、行事を行う理由や意味、先代の方々が積み上げてきた歴史を学び知ること、自然と次世代への引き継ぎが行なわれています。

予想記事が現実に！参加率UPの一工夫

このほか、40年以上連続で参加している夏の子ども神輿、高い出席率が自慢の「4区みんなの敬老会」など、住民みんなが楽しめる行事を考え継続している同民区ですが、情報発信に一工夫加えたことで、参加率が大幅にアップした活動があります。それは、中里地区全体で行うスポーツ大会です。

4区では、全13民区の中で6位～7位という成績が続いておりましたが、民区の広報紙に「我々4区が優勝するかも！？」という予想記事を書いたところ、話題にして活気が盛り上がり、今まで出場選手が集まらず不戦敗だった競技にも選手が集まったことで、平成21年に栄えある優勝を勝ち取りました。それからは、優勝記録を守ろうと連年高い順位を維持しています。

「事後報告の広報だけじゃつまらない。ちょっとしたユーモアや皆をおだてることで、興味・関心を刺激し、意識が楽しい方向に変わるんじゃないかな」と秘訣を語る千葉さん。ちょっとした話題づくりやひと声が皆のやる気を促し大きな動きを生む、4区の心温まる取り組みを教わった取材でした。



広報紙は千葉さんが手書きで作成。「心」が伝わると喜ばれています。

農事組合法人 おくたま農産

企業 紹介



代表理事組合長
佐藤 正男さん

～基本情報～

- ◆代表理事組合長：佐藤 正男さん
- ◆連絡先：〒029-1111 一関市千厩町奥玉字宿下 21
- ◆電話：0191-56-2301
- ◆FAX：0191-56-2301

一歩ずつ前へ前へ 地域営農の挑戦

地域農業をみんなで守り残していきたい

千厩町奥玉は、中山間の、水稻・畜産・野菜・花など昔から農業を中心に営んできた地域です。

平成7年、奥玉地域のほ場整備事業の展開と農業の後継者不足や耕作放棄地等の地域課題をきっかけに、農業従事者有志らが話し合いを持ち、平成19年に7つの集落営農組織が統合し、農事組合法人おくたま農産が発足しました。同法人は、340名の組合員がおり、178ヘクタールの農地で水稻を中心に、大豆・飼料用米・トマトや白菜などの野菜を生産しています。

発足当初から、水稻生産・大豆生産・飼料米転作生産・加工販売・機械管理・総務企画の6つの部を組織し地域に合った営農の取り組み方を工夫し、信頼と寄り添いを大切にしながら法人運営をしています。

課題とチャンスは隣り合わせ

「法人発足から今まで私たちは黒字経営をしています。借金は絶対にしない」と語るのは代表理事組合長の佐藤さん。もともと酪農を専門とし、自身の後継者不足にも悩み、平成23年から酪農から身を引き、経営者として益々地域農業に力を注いでいます。

効率的な営農を実現するため、地域の農家をまとめ農事組合として法人化した当初は、「設備投資で借金だらけになるのでは？」という不安をもった住民も多く、「3年もてばいいほう」と語る人もいたとか。そんな中、法人として掲げた経営理念が「無借金経営」「コスト削減」「効率化」の3つでした。

「確かに、農事組合法人の大方は初期投資として多額の資金を借入れ、その返済に苦労しているようです。いかに借金をせずスタートしていくか、大きな課題でした」と当時を振り返り、「そんな中、偶然にも好機が訪れたんです」と続け「タイミング良く、国に

よる近隣河川の改修工事が始まり農道や農業公園を売却。それにより、事前資金での設備投資が可能になったのです」と佐藤さんは語ります。

「できることは出来る限り自分たちの手で行う」ことをモットーにしている同法人は各部からの提案を受け入れ、コスト削減も強化。特に機械管理部では可能な限り自分たちで農業機器のメンテナンスを行い修繕費の節約をしています。また、全組合員から土地を借り上げ、農地を一元管理することで大型農機具を効率的に使用し、時間や人員配置に余裕が持てるようになりました。その結果、効率化で生じた余剰労働力を活用し、6次産業にも取り組んでいます。同法人事務所に隣接する工房「あらたま」は農家のお母さん方が大豆を利用した味噌などの製造・販売に取り組み年々売り上げを伸ばしています。

喜びを分かち合うのも地域と共に

同法人では毎年12月の第1日曜日を収穫祭の日としています。収穫の喜びは、組合員だけではなく子どもから高齢者まで、地域の方々も多く参加。餅つきや餅のお振舞の他、芸能発表なども盛大に行われ地域が一つになって一年の収穫をお祝いし食します。

「農業というのは、楽しみながら喜びをわかちあう仕事。楽しくやるためには、アイデアと挑戦そして細かい計算が必要。地域の企業として時代に合った農業人の生き方を営めるよう、今後も法人運営をしてきたい」と最後に力強く語る佐藤さんでした。



地元産の物を地元で加工して、地域のみんなで食す(隣接の工房「あらたま」)

＼まる／ ＼まる／

センターの○○○!

— ハプニング大賞 2015 —

2015年の年末、忘年会を控えた年納めの日に、スタッフ全員が集まり一年の振り返りを行いました。日々変化を感じながらのあっという間の一年間。振り返れば、色々なおもしろハプニングが思い出されます。今回は、業務中に起きたおもしろハプニングの中で、ベスト3にノミネートされたエピソードをご紹介します。

3位

“センター違い”で問い合わせ殺到!

平成27年度4月から市内すべての公民館が「〇〇市民センター」に名称が変わったことはみなさまご存知のとおり。一関公民館は、一関市民センターに。私たちの事業所名はいちのせき市民活動センター。年度当初は一関市民センターと間違われた方からお電話を頂いたり、荷物が届いたり...千厩サテライトでは千厩市民センターのイベント会場としてチラシに記載され、間違えたお客様が来所。対応したスタッフは大慌てでした...

これがあの時のスマホですね



スマホカバーが壊れただけで、本体は無傷です

奥様に怒られないかマジで心配でした



スマホは無傷ですが、私の心には傷が残っています(笑)

大賞

激しいダンスでスマホカバー壊れる

8月に開催したいちのせき市民フェスタのイチコレにて、高校生ダンスグループ「D-stars」が三代目J Soul Brothers from EXILE TRIBEの『R. Y. U. S. E. I.』をバックミュージックに、キレキレのダンスを披露。それを横で見ていた畠山さんのテンションがMAXに!「運動は苦手」と、普段は激しい動きをしない畠山さんがノリノリで“ランニングマン”を踊っているではありませんか!隣にいた私が驚いて見ていると、畠山さんのズボンの後ろポケットから、購入したばかりの真新しいスマホが飛び出し、床に落下!パッカーンとばかりにスマホカバーが真っ二つ!!それに気づかず、尚もダンスに熱中する畠山さんの姿に大爆笑!ダンスを踊りきった畠山さんが一言「奥様に怒られるかも」とポツリ。スマホ本体は無事だったものの『R. Y. U. S. E. I.』がとんだ『H. A. N. S. E. I.』に...



2位

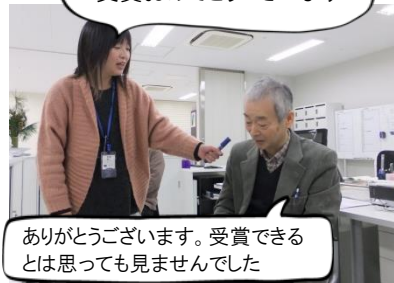
ドリフコントが目の前で...

無類の麺好きが功を奏し、地域担当である花泉のラーメンを食し“ラーメンマップ”を完成させたのは記憶に新しいところ。そんな狩野さんがこの冬訪れた一軒の食堂。注文を聞きにきたおばあさん店員に「カレーうどん」をオーダー。「寒い日はやっぱりカレーうどん♪」と待ちわびる狩野さんでしたが、まさかのコントを繰り広げます。注文後しばらくしてからの会話がコレ!!

店員:「あの～、注文はカレーそばでしたよね？」
狩野:「違います、カレーうどんです」
～10分後～
狩野:「(なかなか運ばれてこないなあ～)」
～5分後～
店員:「あの～、そばご注文でした？」
狩野:「いえ、カレーうどんですが…」

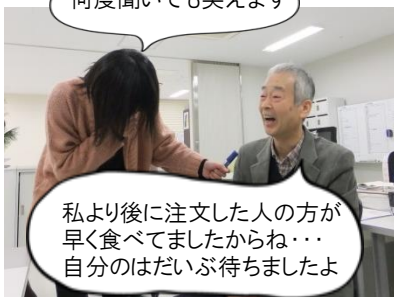
このラリーがしばらく続く中、後に入店・注文したお客さんの元へはカレーうどんが運ばれていったのだとか...

受賞おめでとうございます



ありがとうございます。受賞できるとは思っても見ませんでした

何度聞いても笑えます



私より後に注文した人の方が早く食べてましたからね...自分のはだいぶ待ちましたよ



おしらせ

一関

岩手・一関 第九回全国わんこもち大会

一関の餅文化をユニークに発信するわんこもち大会。競技種目は団体戦（2人1組）と男女個人戦があり、5分間で食べた餅の個数を競います。大食い選手たちが繰り広げる熱き戦いをぜひ応援に来てください！

【日時】平成28年2月7日（日）10時～13時
【場所】なのはなプラザ2F
【料金】入場無料
【問合】同大会実行委員会
【電話】0191-26-6400

大東

一関市・大東大原水かけ祭り

沿道で待ち構えた人達から容赦ない冷水を浴びせかけられながら、「火防祈願」「無病息災」「家内安全」を祈って勇ましく走り抜ける裸男達。江戸時代から続く祭りで、極寒の2月に行われることから天下の奇祭と呼ばれます。

【日時】平成28年2月11日（木）9時～16時頃
【場所】大東町大原 大原商店街ほか
【料金】入場無料
【問合】一関市・大東大原水かけ祭り保存会
【電話】0191-72-2282（大原市民センター内）

千厩

Hana金

参加者同士の自然な会話・交流の中で、お悩みの解決策を探ったり、企画を膨らませたりしていく、新しいようで自然な空間です。誰でも自由に参加できます。話したい人はもちろん、聞きたい人も！今回は「アイデア絞り大会」♪

【日時】平成28年2月19日（金）18時45分～21時
【場所】せんまやサテライト
【料金】300円（コビル・ドリンクつき）
【問合】せんまやサテライト
【電話】0191-48-3735

一関

一関ハンドクラフト展 vol.3

一関市在住の方を中心に、岩手内陸・沿岸・宮城のハンドメイド作家のお店47店舗が一関に集結！手作り品の販売の他、ワークショップ（手作り体験）、展示室窓辺のコーヒースペースではパンや焼き菓子を頂けます。

【期間】平成28年2月27日（土）～28日（日）10時～16時
【場所】一関文化センター1F展示室、小ホール
【料金】入場無料
【問合】red*butterfly 鈴木亜衣
【メール】lovely@redbutterfly.biz

一関

ダム建設写真展 in あいぽーと サラバ石淵そして胆沢へ

日本で最初のロックフィルダム（岩塊を積み上げて建造したダム）として、昭和28年に胆沢川上流に造られた石淵ダム。北上川特定地域総合開発事業の一環として建設され、その歴史を当時の貴重な写真と共に振り返り学びます。

【期間】平成28年2月28日（日）まで
【場所】北上川学習交流館あいぽーと
【料金】入場無料
【問合】北上川学習交流館あいぽーと
【電話】0191-26-0077

一関

ほんでら風めぐり

骨寺村荘園交流館では、春フェスタ28・ほんでら風めぐりを開催します。ハンドクラフト雑貨の販売やカフェを始めとして、ヨガ、骨盤体操、バランスボールなどの癒し、ジャズやロックが楽しめるライブなど盛りだくさん。

【日時】平成28年3月6日（日）9時30分～16時30分
【場所】骨寺村荘園交流館・休憩所
【料金】入場無料
【問合】骨寺村荘園交流館（若神子亭）
【電話】0191-33-5022

一関

音楽の絵本

金管5重奏のズーラシアンブラスと弦楽4重奏の弦のうさぎ...動物たちが織り成す不思議なクラシックコンサート「音楽の絵本」シリーズが今年も開催されます！春休みに、親と子の触れ合いの時間としていかがでしょうか？

【日時】平成28年3月26日（土）13時30分開場、14時開演
【場所】一関文化センター大ホール
【料金】おとな1,000円 こども500円
【問合】NPO法人一関文化会議所
【電話】0191-21-2121

花泉

箱庭作り教室

鉢の中に、植物をメインに人形や動物などの小物を並べ景観を構成し、箱庭寄せ植えを作ります。主に多肉植物や観葉植物を使うので管理も簡単！20分から40分程度で制作できますので、お気軽にご参加ください。

【日時】随時
【場所】花と泉の公園
【料金】1,500円～
【問合】花と泉の公園（花泉観光開発株式会社）
【電話】0191-82-4066

一関

お試し移住 in いちのせき

一関に移住を考えている方、一関の生活を丸ごと体験できるお試し移住をしてみませんか？厳美の一棟貸切ゲストハウス「山笑亭」に滞在。農林業体験や市内の空き家情報をご用意しています。予約は下記電話番号まで。

【期間】2泊～7泊まで選べます。
【体験場所】一関市厳美町字外谷地
【料金】体験料は下記まで問い合わせください。
【問合】いちのせきニューツーリズム協議会
【電話】0191-82-3111

今月の表紙



手作りとは思えない程クオリティの高い「窯」が完成しました。NPO法人北上川サポート協会事務局長の金野さんの猫「ぼん太」が、頭に乗ったり、背中に乗ったりして何度も邪魔をされた「窯づくり」ですが、特に大変だったのはレンガとレンガのセメントの接着作業、製作に費やしたのは延べ2週間です。

Q&A

あなたの「知りたい」にスタッフが答えます

Q FacebookやTwitterで情報発信をしたいのですが

A いちのせき市民活動センターでは、情報誌を始めとして、インターネットを活用した情報発信など、目的に合わせた多様な媒体での情報発信を行っております。基本的な操作の仕方など、情報発信による事業運営についての相談も受け付けております。お気軽にご相談ください。

